CHUBU

取扱説明書（保証書付）

型式　ＤＲ２４ＳＡＡ
ＤＲ３０ＳＡＡ

ビルトインＩＨコンロ

●このたびは、ＩＨコンロをお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

●この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。

●お読みになったあとは必ずいつもお手元においてご使用ください。

●仕様および外観は予告なく変更する場合があります。

もくじ

1 安全のため必ず守ってください・・・ 1
2 設置および使用前の準備・・・・・・・・・・・・ 5
3 各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4 使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
5 日常の点検とお手入れの方法・・・・・ 9
6 故障の見分け方と処置方法・・・・・・・ 10
7 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
8 保証とｱﾌﾀｰｻｰﾋﾞｽについて・・・・・・・ 12

株式会社 中部コーポレーション

1　安全のため必ず守ってください

● ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
● ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
● 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。　＊

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を意味します。

図記号の例

注 意	△は注意（危険・警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△ の中や近くに絵や文章で表示してあります。
分解禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で表示してあります。
プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、● の中や近くに絵や文章で表示してあります。

警　告

●お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし、損傷があれば運送会社へ損傷の状況を（梱包の箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガ等の原因となります。

損傷確認

●アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
（電気工事業者によるＤ種設置工事が必要です。）

アース工事

●絶縁試験（メガーテスト）をしないこと

絶縁試験（メガーテスト）を行うと、製品が焼損または破損します。

禁　止

●本製品の１台につき１個の漏電遮断機（地絡過負荷・短絡保護兼用形・感度電流 30mA）を設置すること

漏電遮断機設置

●電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードを使用したり、タコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。（電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認して下さい。）

専用コンセント

●屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。

屋外禁止

●本機は業務用ですので子供だけで使わせないでください

感電、ケガの原因になります。

禁　止

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁　止

●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検清掃

●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、操作をしないこと

感電の原因になります。

濡手禁止

●異常時は、運転を停止し電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

●電源は単相２００Ｖを使用すること

異なる電源を使用すると機器が異常発熱し、機器の破損・火災の原因となる恐れがあります。

専用電源

●使用後のトッププレートは熱くなっていますので手を触れないこと

使用後しばらくは、鍋の熱でトッププレートが熱くなっていますので、
手を触れないでください。火傷をすることがあります。

接触禁止

●トッププレートに衝撃を加えないこと

トッププレートはガラスですので衝撃を加えると割れます。
トッププレートにひびが入ったり、割れた場合は、販売店に連絡してください。
有償にて修理を致します。そのままでの使用は絶対にしないでください。
異常作動や感電の原因となります。

禁　止

●鍋の底に物を敷いて運転しないこと

鍋の底に紙や布などの物を敷くと鍋の熱でその物を焦がすことがあります。
また、それによって製品が壊れる可能性があります。

禁　止

●鍋の中に何も入れずに運転しないこと

鍋の中に何も入れずに運転すると火傷、火事等のおそれがあります。
また、それによって製品が壊れる可能性があります。

禁　止

●製品を水や油等の液体につけたり、かけないでください

感電、ショート、発火の原因になり、製品が壊れる可能性があります。
また、ふきこぼれ等の場合は加熱を停止し、拭き取ってください。
高温（200℃以上）の油などの飛散によってトッププレートの接着が損傷し、
それによって製品が壊れることがありますので気を付けてください。

禁　止

●心臓用のペースメーカーをご使用の方は、使用に注意してください

心臓用のペースメーカーをご使用の方は、専門医師とよく相談の上、影響の
ないことを確かめてからご使用ください。

注意

⚠ 注　意

●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になる
ことがあります。

水平設置

●長時間使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜くこと
あるいは元電源を切ること

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になる
ことがあります。

プラグを抜く

●廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

専門業者

●吸気口・排気口をふさがないこと

吸気口又は排気口付近に物を置くなどをして、ふさがないでください。
保護装置が作動して加熱が停止したり、製品が壊れることがあります。

禁　止

●鍋はトッププレートの中央目安線の中心に置くこと

トッププレートの指定の場所からずらして加熱すると、パワーが落ちる場合があります。

注意

●磁気製品を近づけないでください

磁気製品を近づけると壊れる場合があります。

注意

●加熱中に電磁調理器用鍋以外の金属をトッププレート上に置かないこと

電磁調理器用鍋以外の金属類（缶類、ナイフ、スプーン等）を
トッププレート上に置くと異常加熱して火傷等の危険があります。
絶対上に置かないでください。

禁　止

●排気した風などの暖かい風を吸気しないように据付けてください

排気した風などの暖かい風を吸気すると、機器内部の温度が上がり、保護装置が作動して加熱が停止したり、製品が壊れることがあります。

禁　止

●エラーが表示された時は、原因を取り除き一度電源プラグを抜きコンセントに差し込んでください

原因がわからない時は、最寄の販売業者に連絡してください。

注意

●通電中にタッチパネルコードのコネクタを抜いた時は、一度電源プラグを抜きコンセントに差し込んでください

注意

●吸気口・排気口やすきまなどに金属物等の異物を入れないこと

感電や異常動作をして、ケガの原因になります。

禁　止

●調理以外の目的に使用しないこと

過熱、異常動作をする可能性があります。
※火災や、火傷の原因になります。

禁　止

2　設置および使用前の準備

●設置説明書に従って正しく設置してください

設置説明書をよく読み、設置してください。

●周囲温度 35℃以下の環境で使用してください

周囲温度が 35℃以上の環境で使用されますと、保護装置が作動して加熱が停止したり、製品が壊れることがあります。

●丈夫で平らな所に水平になるように設置してください

本機は、正しく作動するために、水平な場所に設置してください。

●本機に水がかかる恐れがある付近には設置しないでください

感電、ショート、発火の原因になり、製品が壊れる可能性があります。

●電源は規格の電圧のものを使用してください

電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認してください。

電磁調理器用鍋を使用してください

鍋の形状・材質・大きさにより使用できない鍋があります。

使用できる鍋

鉄、鉄ホーロー、鋳物、ステンレス（18-0, 18-10）等、磁石の付く鍋で、鍋底の直径が１２cm以上で、底の平らな鍋、または、電磁調理器用に設計された鍋。
鍋底の直径が１２cm以下や底が平らでない鍋は加熱可能ですが、十分な加熱ができない場合があります。
また、電磁調理器用の鍋でも磁性が弱いものだとパワーがでない場合があります。

注意

鍋底が薄い鍋は、使用中にそる場合がありますので、厚手のものを使用してください。

使用できない鍋

ガラス、アルミ、銅、陶磁器、土鍋等の磁石が付かない鍋
アルミや銅鍋等に鉄を溶射した鍋
トッププレートから鍋底が離れている鍋（鍋底とトッププレートが接触していない）

注意

使用できない鍋を加熱すると、保護装置が働き自動で停止します。

3　各部の名称

付属品

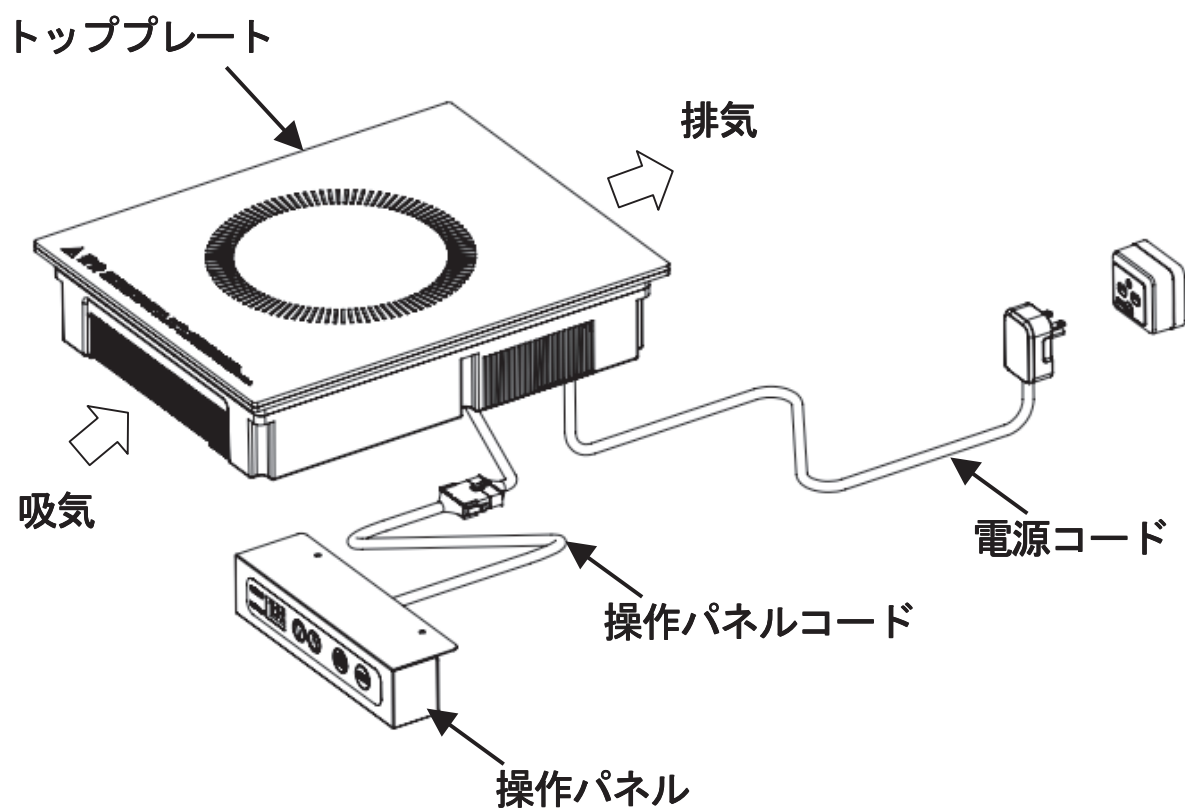
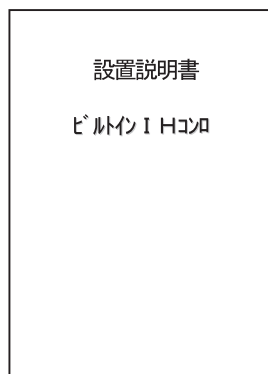
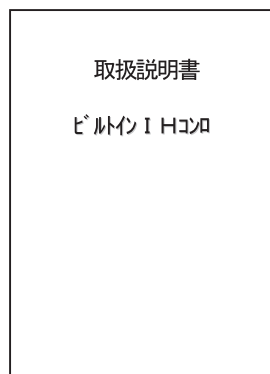
取扱説明書（保証書付き）

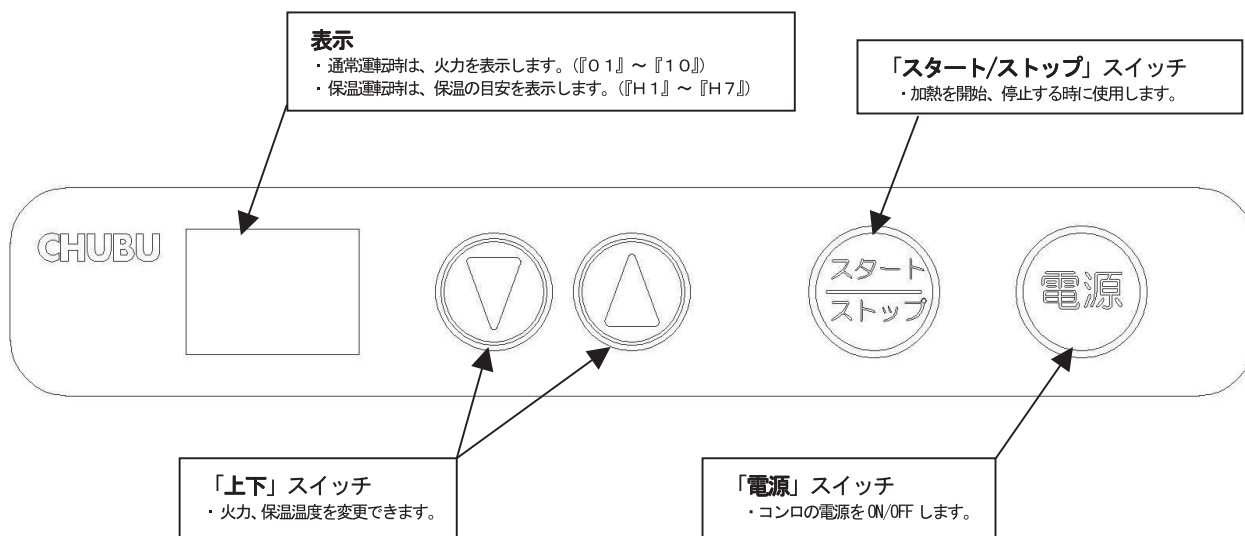
取扱説明書

ﾋﾞﾙﾄｲﾝＩＨｺﾝﾛ

設置説明書

設置説明書

ﾋﾞﾙﾄｲﾝＩＨｺﾝﾛ

タッピングねじ（２本）

4　使用方法

操作パネルの説明

1. 通常運転（火力調節運転）

(1) 漏電遮断機を「ＯＮ」にします。

(2) トッププレートの中央に加熱したい鍋（前頁の使用できる鍋に該当すること）を置きます。

(3)「電源」スイッチを押すと『００』を表示します。

(4)「スタート/ストップ」スイッチを押すと『１０』を表示し、加熱が開始されます。

(5)「上下」スイッチによって火力の強弱の調節ができます。
(表示が『０１』の時に、「上下」スイッチの下スイッチを押すと『Ｈ７』を表示し、保温運転に切り替わります。)

(6)「スタート/ストップ」スイッチを押すと『００』を表示し、加熱が停止されます。
（この状態で「スタート/ストップ」スイッチを押すと、停止前の火力で加熱を開始します。）

(7)「電源」スイッチを押すと「 . . 」を表示し、電源を切ります。
(この状態で「スタート/ストップ」・「上下」スイッチを押しても反応しません。)

2. 保温運転

(1) 漏電遮断機を「ON」にします。

(2) トッププレートの中央に加熱したい鍋（前頁の使用できる鍋に該当すること）を置きます。

(3)「電源」スイッチを押すと『００』を表示します。

(4)「スタート/ストップ」スイッチを押すと『１０』を表示し、加熱が開始されます。

(5)「上下」スイッチで火力を下げてください。表示される数値が減っていきます。

(6) 表示が『０１』の状態で更に「上下」スイッチの下スイッチを押すと、『Ｈ７』と表示され保温運転へ切り替わります。

(7)「上下」スイッチによって保温温度の調節ができます。
(『Ｈ７』～『Ｈ１』の範囲で変更可能。　※各表示の保温温度の目安は下記表参照)

(8)「スタート/ストップ」スイッチを押すと『００』と表示され加熱が停止されます。
（この状態で「スタート/ストップ」スイッチを押すと、停止前の火力で加熱を開始します。）

(9)「電源」スイッチを押すと「 . . 」を表示し、電源を切ります。
(この状態で「スタート/ストップ」・「上下」スイッチを押しても反応しません。)

表示	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7
保温温度の目安[℃]	35	40	50	60	70	80	90

※上記の保温温度は目安であり、加熱物（鍋、フライパンなど）又は、水などの量により保温温度が上下します。

注　意

加熱中に電磁調理可能鍋以外の金属等（缶類、ナイフ、スプーン等）をトッププレート上に絶対に置かないこと。

加熱中に金属物を置くと加熱してしまいます。火傷等の危険がありますので絶対にしないこと。

注　意

鍋はトッププレートの中央に置くこと。

トッププレートの中央からずらして加熱すると、パワーがでない場合があります。

注　意

加熱を切りにしても冷却ファンが動いていますので、停止するまで電源を遮断しないでください。

5　日常の点検とお手入れの方法

１．吸気口・排気口の清掃

(1)電源を切り（漏電遮断機を「ＯＦＦ」)、機器が十分に冷えている事を確認してください。
(2)吸気口・排気口に付いている汚れや、ゴミなどを硬くしぼった濡れふきんなどで
きれいにしてください。
(3)汚れがひどい時は、台所用洗剤、ブラシなどを使い清掃してください。
（清掃の際、洗剤などが製品内部に入らないようにしてください。）

注　意

吸気口・排気口の清掃は１週間に１回行ってください。
使用環境が悪い場合や使用頻度が多い場合は、手入れの回数を増やしてください。
吸気口・排気口が目詰まりした状態で運転をしないでください。
製品が壊れる原因となります。

２．トッププレートの手入れ

トッププレートが汚れた場合は、硬くしぼった濡れふきんで拭き取ってください。

注　意

トッププレートは常に汚れの無い状態で使用してください。
トッププレートに付着物が付いた状態で使用を続けると、加熱力が弱くなります。

6　故障の見分け方と処置方法

以下の処置方法を行っても直らない場合や、以下以外の症状が発生した場合は、漏電遮断機を遮断し、販売店に連絡してください。

症状	お調べいただきたいところ	処置方法
「電源」スイッチを押しても何も表示されない	電源プラグが抜けていませんか？	コンセントに差し込んでください。
	ブレーカーがとんでいませんか？	配電ボックスを確認し、異常の原因を取り除き、ブレーカーを復帰してください。
	電源がきていない？	
表示が『ｎｐ』と表示されている	使用できない鍋を使っていませんか？	使用できる鍋に交換。（Ｐ５参照）
	鍋がトッププレートの中心に置いてありますか？	鍋をトッププレートの中心に置いてください。
表示が『Ｅ１』と表示されている	過電流または、湿度が異常に高くなっていませんか？	電源コードを一旦抜き、再度差し込んでください。
表示が『Ｅ２』と表示されている	電源電圧が２６０Ｖ以上になっていませんか？	電源電圧が２００Ｖであることを確認してください。
表示が『Ｅ３』と表示されている	電源電圧が１７０Ｖ以下になっていませんか？	
表示が『Ｅ４』と表示されている	周囲温度が高すぎませんか？	換気などを行い機器の周囲温度を下げてください。
	吸気口・排気口がゴミなどでふさがれていませんか？	ホコリ・ゴミなどがあれば掃除機で掃除してください。
表示が『Ｅ６』と表示されている	トッププレートの温度が異常に熱くなっていませんか？	トッププレートの温度が冷めるまで待ってからご使用ください。

●エラーを解除する際は、「電源」スイッチを押して一度リセットしてください。
（ ※エラー表示がされ、直ぐに「電源」スイッチを押しても、解除されないエラーがあります。その場合は、しばらく待ってから「電源」スイッチを押してみてください。 ）

7　仕様

型式	定格消費電力	定格電源	外形寸法 (幅×奥行き×高さ㎜)	質量
ＤＲ２４ＳＡＡ	２．４ｋＷ±１０％	ＡＣ　２００Ｖ 単相 ５０/６０Ｈｚ	２９７×３７０×８０	５　ｋｇ
ＤＲ３０ＳＡＡ	３．０ｋＷ±１０％			

8　保証とアフターサービスについて

保証期間は、本体お買い上げ日から１年間です。

保証期間中は、保証書の規定に従って、無償修理させていただきます。
保証期間後は、診断して修理できる場合、ご要望により、有料で修理させていただきます。
有料修理につきましては、修理費用は、事前に見積金額として提示させていただきます。
修理費用は、技術料＋部品代＋出張料（運送費）で構成されております。
保証期間１年を経過した商品の修理後の保証につきましては、修理箇所についての保証のみで、修理品お届け後６ヶ月です。修理箇所以外で発生した故障につきましては、有料の修理となります。
保証期間後、予防保全の観点から、当社にオーバーホール定期点検の依頼がある場合、当社は、有料でオーバーホール定期点検を実施いたします。オーバーホールの依頼を受け、当社で定期点検修理を実施した商品につきましては、定期点検実施後、６ヶ月の保証をいたします。

保証期間中においても、有料修理となる例

①　外力による破損（ﾄｯﾌﾟﾌﾟﾚｰﾄの破損、等）
②　製品の設置環境が仕様に記載された条件を逸脱して、使用されている。
③　電源系統に落雷、電気工事などで、異常電圧が発生し故障した痕跡のある場合。
④　高温（200℃以上）の油などの飛散によるトッププレート接着材の損傷による故障
⑤　製品の内部に水などの浸入が認められる場合